

第1回 八尾市総合計画審議会 議事録

日時：令和元年7月1日（月）18時30分～18時55分

場所：八尾市役所6階 大会議室

出席者：

和泉委員、植島委員、大本委員、岡橋委員、織田委員、川崎委員、川野委員、神原委員、岸本委員、貴島委員、久保委員、熊本委員、清水委員、新福委員、田中順治委員、田中優委員（副会長）、谷岡委員、谷原委員、丹波委員、築澤委員、轉馬委員、中田委員、中浜委員、西田委員、野村委員、初谷委員（会長）、花嶋委員、藤本委員、増田委員、枅谷委員、水野委員、吉田委員、和田委員、事務局（※委員名は五十音順）

欠席者：相川委員、岩本委員、椎野委員、農野委員、菱家委員

開会

事務局

ただいまから、令和元年度第1回八尾市総合計画審議会を始めます。

（資料確認）

1. 市長あいさつ

大松市長

大変お忙しい中、八尾市総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。平素は、本市政運営に格別のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年度は、総合計画審議会において、八尾市第5次総合計画の総括を行っていただきまして、誠にありがとうございました。

5月1日に第7代八尾市長に就任し、その後、総括報告書について、職員から報告を受け、拝読いたしました。八尾のまちづくりについて、熱心にご議論いただいたことが伝わってきて、第6次総合計画に向けてのご提案を尊重し、「よいところは伸ばし、改めるところは改める」との考えのもと、行政素案の策定を進めてまいります。

私自身、八尾で生まれ育ち、多くの人に育てていただいたと思います。今を生きる市民が、この八尾で幸せに暮らし続けていただきたい、そして新たに八尾に住み、働き、学ぶ人が増え、八尾を選んでよかったと思っていただけるように、「八尾新時代」の市政運営を担ってまいります。

およそ、10年前、第5次総合計画が策定された頃と比べますと、人口の問題がより大きく取り上げられており、日本全体で減少傾向、八尾も微減という現実がございます。その中でも「成長する八尾」を実現していきたいと考えており、そのためには、活力、つまりマンパワーが必要だと考えております。

亡くなられる方が増え、生まれてくる子どもたちが減るなかで、人口増加は難しくとも、何とか、現状維持か、できれば増加に転じるよう、「成長と活力」を実現できる総合計画にしていきたいとの思いであります。

最近では、「交流人口」や「関係人口」という考え方もございます。八尾市に住まれる方に加えて、八尾に興味関心を持ち、関わっていただく方を増やすことも、成長、活力につながると思います。

また、成長のためには、一定の投資が必要だと考えております。特に、次世代を担う子どもたちへの取り組みに投資をしていきたいと考えており、そのためには、財源を創出しなければなりません。ここは行政の努力ということになりますが、「お金が回る」という好循環のまちづくりを、総合計画の中で明らかにしたいと考えております。たとえば、『観光』です。近年のインバウンド需要の高まりを踏まえ、大阪府・大阪市との広域連携の強化に取り組みながら進めてまいりたいと考えております。

さらに持続可能性に関連して、国連で採択されたSDGsの考えを取り入れるなど、世界に通じる八尾を作っていきたいと考えております。

一方で、成長のために一定の投資を進め、重要な部分に光をあてることで、必ず影ができることとなりますが、今申し上げたSDGsの理念でもある「誰一人取り残さない」という思いで、できる限りその影を少なくしていきたいと考えております。

八尾には現在約 266,000 人が住んでいます。八尾に働きに来られる、あるいは学びに来られる方を含めると、もっともっと多くなると思います。人はそれぞれいろいろな思いを持ち、多様な価値観の中で毎日を生きておられます。すべての人が幸福感を感じながら互いに認め合い、八尾に住んでよかったと思っていただくためにも、人権尊重のまちづくりをさらに進めてまいりたいと考えております。

また、本市では市民参画と協働を大切にしてきました。人と人とのつながりが薄くなっているといわれている昨今、少子高齢化が進む社会で、温かい関係のなかで幸福感を感じながら、安心して人生 100 年を全うできるようにするにはどうすればよいかを、第6次総合計画の策定にあたり、改めて明らかにしていきたいと考えております。そして、地域の皆様が本当にしたいことを実現できるように、地域のまちづくりのめざす方向性を、市民の皆様と行政という間だけでなく、市民の皆様同士でも、分かち合い共有していくものにしていきたいと考えております。

多くの方が「選ばれるまち、暮らし続けたい八尾」と感じられる、『八尾新時代』を市民とともに創造していくための総合計画を作ってまいりたいと考えております。皆様には、残り約2年にわたり、大変お世話になりますが、充分なるご審議をいただきますようお願いを申し上げ、開催にあたってのごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 新委員の委嘱及び紹介

(新委員の委嘱とご紹介)

(事務局の紹介)

事務局

会議の成立条件の確認ですが、委員総数 38 人のうち、本日の出席委員は 33 人で過半数を占めており、八尾市総合計画審議会規則第 7 条第 2 項の規定により、会議が成立していることをご報告いたします。

それでは、ここからの議事進行を初谷会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

3. 諮問について

初谷会長

昨年度は第 5 次総合計画の検証と提案について、度重なる会議にご支援、ご協力いただきました。先ほど市長から『八尾新時代』を創造するための第 6 次総合計画を作りたい」という強い決意を承りました。審議会としましても、そのような重要な第 6 次総合計画にぜひ寄与させていただきたいということで、改めて身の引き締まる思いでございます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、事務局で進行をお願いします。

事務局

大松市長から、初谷会長に諮問をお願いします。

大松市長

(諮問書を読み上げ、初谷会長に手渡し)

事務局

諮問の写しを委員の皆様にお配りします。

それでは、初谷会長、再度進行をお願いします。

初谷会長

ただいま諮問をいただきましたが、諮問事項は、ご覧の通り 2 項目ございます。

先ほど市長がごあいさつで、第 6 次総合計画の策定に向けて思いを述べられました。

1 点目として人口の動向、関係人口などの人口に関する新しい概念も踏まえた「成長と活力」の実現について、2 点目は、成長に向けた投資のために財源を創出したい、それを生み出す好循環のまちづくりを図りたいというお話がありました。3 点目は SDG s に関

してです。成長のための投資を行います、その光の影で取り残される市民が出ないよう、可能な限り影を少なくするように努めたいというお話がありました。4点目は、「地域のまちづくり」ですが、八尾市が多年にわたって力を注いでこられた点でもあります。まず市民同士が方向性を共有でき、その上で行政との間でも方向性を共有できるものにしたいという考え方を示されました。

これらの点は、昨年度末の私ども審議会の総括報告書等でご提案したことを受け止めていただき、今年度前半に取り組まれる第6次総合計画の行政素案づくりに対して、市長としての示唆を与えられたものと思われまます。

私どもが本格的に審議に入るのは、4か月ほど後になります。委員の皆様におかれましても、それぞれのお立場から第6次総合計画の策定に向けて、議論のご検討やご準備をいただければ、ありがたく存じます。

4. 今年度の審議会スケジュールについて

初谷会長

では、今年度の審議スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

(資料2説明)

初谷会長

ご質問はございませんか。

特にないようですので、このスケジュールに沿って進めていくことにいたします。

5. その他

事務局

資料2の全体会と各部会の日程は、事務局で立てたおおよその目安です。会議の具体的な開催日時は決まり次第通知します。また、新たに資料がある場合は、その都度事前に送付します。本日配布した水色のフラットファイルに追加して資料を綴じて、全体会や各部会の会議にお持ちいただければと思います。

この全体会閉会后、約10分の休憩をはさみ、東側の研修室で総合戦略部会を19時05分から開催します。総合戦略部会の委員の皆様はご移動をお願いします。

閉会

事務局

これで、第1回八尾市総合計画審議会を終了します。

以上